

男女共同参画へ一歩いっぽ。〔パ・ザ・パ〕

Pas à pas

No. 25
2015 OCTOBER



P 2 ~ 9 男性にとっての男女共同参画

特集 「男のセカンドライフステージ」

P10~11 女性の活躍応援事業所紹介 株式会社女性イキイキカンパニー

P12 女性の活躍応援プロジェクト

男性にとっての男女共同参画

特集「男のセカンドライフステージ」

「退職したら、〇〇〇。」

あなたなら、どんな言葉をあてはめますか？

「仕事」、「職場」というスペースから一步踏み出した時、あなたの世界はどんな風に広がっているのでしょうか。

定年退職を迎える前のみなさんは、「きっとのんびり暮らせるはず！」「何にもすることが無いなんて、どうやって過ごせばいいのかなあ・・・？」なんて思っていないですか？

・・・いえいえ、実際に定年退職なさったみなさんにお話しを伺ってみると、なかなか忙しく、充実した毎日を過ごしていらっしゃるようです。今回は、8人のシニア男性を紹介します！！

子どもたちの安全を見守る

石垣 昭次さん（76歳）

自動車整備会社を退職後、再就職。毎朝出勤前、登校する子どもたちの安全を見守る交通指導員としての活動をしています。また、趣味はボーリング、旅行など、充実した毎日を送っています。



毎朝出勤前、横断歩道に立ち、登校する子どもや地域の方の安全を見守る交通指導員を清水区でやっています。交通指導員となるきっかけは、地区の自治会長からの推薦があり、任を受けることとなりました。一時期お休みさせてもらったこともありますが、平成12年より続けています。

雨の日、暑い日、寒い日、どんな時も、自分の孫を見る気持ちで子どもたちの安全に目を配って活動しています。

また、毎日登校する子どもたちに、交通規則を守る大切さとともに、あいさつのできる子になってほしいとの思いがあります。それにはまず、大人が手本となって、自らすすんであいさつをするような環

境が必要なのではないかと感じています。

仕事や交通指導員の活動の傍ら、趣味のボーリング、グランドゴルフ、旅行などを楽しています。

ボーリングは始めてから45年になりますが、毎週静岡まで通っています。

これからの目標は、80歳を迎えるまで仕事や交通指導員を続けていきたいということ。そしてもうひとつは、以前勤務先の旅行で訪れたハワイにもう一度行ってみたいと思っています。一度訪れたら、もう一度行きたくなると言われているハワイ。旅行中は感じることもありませんでしたが、帰国後、時間が経つにつれ、その言葉通りの気持ちとなりました。

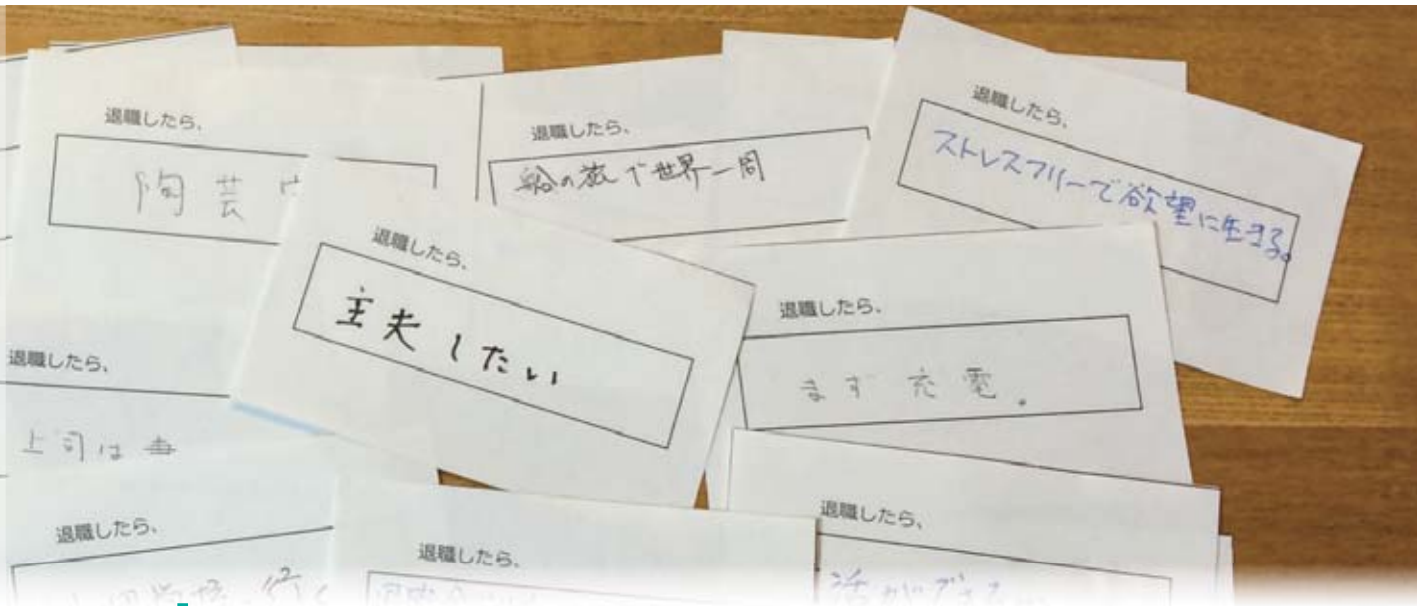
是非もう一度行ってみたい！再訪しハワイでのんびり過ごす時間を楽しみにしています。

★ 小学生からのメッセージ ★

「いつも僕たちを見守ってくれてありがとうございます！」



※50代男性に書いていただきました。



地域を繋ぐ自治会長

遠藤 兼生 さん (71歳)

仕事を続けながら、自治会長として自治会員同士の繋がりができるよう、努力しています。また、50歳から始めた趣味のテニスは健康維持とストレスの発散となっています。



自治会長職を引き受け、6年目になります。退職後すぐに再就職したので、フルタイム勤務をしながらの活動ですが、自治会の仕事は、皆様に協力・応援をいただきながら、自分なりに取り組む努力を心掛け、取り組んでいます。

自治会では毎月の定例会を開催しています。親しく話をする機会がなかった方々が定例会で顔を合わせるによりコミュニケーションが図れ、情報を伝達するだけでなく、情報を共有しながらお互いが使命感を持って協力し合える体制を作り上げていく場になっていると思います。

定例会の資料は、出来るだけ自治会の皆様にご理解頂けるよう、分かり易く、詳細なものを作成するよう心掛けています。



また、自治会員同士の交流の場となるよう、学区内運動会終了後の祝勝会、そして自治会内の神社境内でのお花見行事等を実施しています。地震等の自然災害時、安否確認が第一優先になるかと思いますが、このような交流の場による会員同士の触れ合いが、相手の気持ちを思いやる安否確認等に繋がるのではないかと考えています。特に高齢化社会が進む中では大切かと感じます。

フルタイム勤務のため、会長職を引き受けることに戸惑いも感じましたが、自分も含め、子ども達もこの自治会で生活し、お世話になっている中、今度は自分が恩返しをする時期でもあるのかなとの思いと、皆様の推薦を断つてはいけないとの思いで会長職を了承しました。一步踏み込んだことにより、意図すること以外にもいろいろな方との出会いがあり、視野も開け、自分自身の成長が出来たと感じています。

★ 自治会のみなさんからのメッセージ ★

「自治会業務を完璧にこなすかたわら、ダジャレも飛び出す親しみある会長さん。いつも親睦を深められるよう尽力をつくして下さり、感謝しています。おかげで行事も楽しく参加させてもらっています。」

ファミリーのバトンを繋ぐ^{つな}

鈴木 啓次 さん (67歳)

近くに住む息子夫婦と、浜松に住む娘夫婦の子育て支援中心の忙しい毎日です。生活の中でオンとオフの切り替えを心掛け、趣味の時間も大切にしています。

現在は、近所に住む息子夫婦と浜松に住む娘夫婦の子育て支援で、もっぱら育ジイ業中心の忙しい毎日です。

退職する前までは全くと言っていいほど料理をすることがなかったのですが、今では孫たちから「麺とカレーの達人！」と呼ばれるほどの腕前となりました。息子夫婦や娘夫婦からは、「フットワークの良いお父さん」と感謝され、孫たちからも好きな順位がパパを超えてママの次になりました！

しかしながら、自分ペースでいかない育ジイ業は楽しい半面、心身ともに疲れることも多いので、オンとオフの切り替えに心掛け、オフの時には、囲碁、麻雀、読書、競馬等で頭を使い、ウォーキング、ストレッチ、自彊術(じきょうじゅつ)体操で身体を動かす等、ストレス解消に努めています。



夏と冬の年2回、私たち夫婦主催の3家族旅行&クリスマス会も恒例行事になり、楽しみとなっています。

退職まで好きなようにさせてくれていた妻に感謝し、地域のボランティア活動に熱心に取り組んでいる妻の助けになれたらと思い、できるだけ家事を率先してやり、私のできるサポートをしています。

今は4人の孫たちの健やかな成長を願っています。孫たちの世話をする為には、体力がないといけないので、自身の健康年齢をできるだけ延ばすようにしていきたいです。

自分が結婚して子育て中の時期は共働きだったので、お互いの両親が私の家まで毎日通って子育てを応援してくれました。その母も95歳になって、介護支援を必要としています。順送りというか今度は私達が、親の面倒を見、孫の世話をする立場となりました。親に、妻に感謝の気持ちを持ちつつ、ファミリーのバトンを繋げて行きたいと思います。

★ お孫さんたちからのメッセージ ★

「じいさん、おもしろくて、たのしくて、だいすき！じいさんがつくったおそば、うどん、やきそば、カレーは最高！」

◆ 男の料理（西奈生涯学習センター）

平成16年に西奈生涯学習センターで主催した料理講座の修了生が立ち上げたサークルです。

料理仲間募集中！旬や身近な食材を使って、身体にやさしい料理を作っています。初心者の方でも大歓迎です。一緒に楽しく、おいしく料理しませんか。気軽に覗きに來てください。

【活動日】 毎月第1土曜日 14:00～17:00

【活動場所】 西奈生涯学習センター

【会費】 2か月分で3,000円

【問合せ】 電話261-8331 携帯090-1295-0208 (代表：石黒 吾朗)



みんなの笑顔に囲まれて

清澤 正志 さん (68歳)

子育て支援活動に参加しながら、中学時代から続けてきた陸上、そして趣味のバドミントン、ラジオ体操、ハイキングコースの草花の手入れなど、様々な活動をして充実した日々を過ごしています。



子どもたちとふれあうことが好きで、以前から地域の子供達と交流する時間を持ってきましたが、退職を機に地域の主任児童委員を引き受けて活動しています。

広報に載っていた子育て支援活動のボランティアにも応募し、月一度「子育てトークの会」にスタッフとして参加しています。子どもたちを遊ばせながらママ同士が会話し、横のつながりを作れる場であり、また、お孫さん連れて来られるおじいちゃん、おばあちゃんたちとも子育てのお話ができる交流の場にもなっています。私自身も、とても楽しませて頂いています。

最近では、妻とともにファミリーサポート会員にも登録し、講習を受け、忙しい家族に代わって自宅でお子さんを預かるという活動にも参加しています。

子育て支援以外にも、病院での受付や案内業務のボランティア、妻と一緒に参加しているバドミントンサークル、日本平ハイキングコースの緑化活動「有度山を愛する会」、中学時代からずっと続けている陸上など、毎日何かしらの予定が入っています。

陸上は、今でも現役で大会に参加したり、陸上競技会では審判員としても携わっています。

退職とともに、「これで、マスターズ陸上のトレーニングができる!」と思っていましたが、様々な活

動の時間と重なってしまい、なかなか時間が取れません。

年金生活で、「もう少しお金を自由に使えたらいいな」と思ったりもします。

でも、やはりボランティア活動で人々の笑顔に会える事が嬉しいし、自分の好きな事で皆さんに喜んでもらえると、イキイキ、健康で元氣な充実した生活ができます。

今後も健康に注意し、元氣にボランティア活動を続けていきたいと思っています。

★「子育てトークの会」スタッフからのメッセージ★

「うちの子育てボランティアに、自ら応募して下さった男性は初めて! 知識も豊富で子どもとの接し方も上手。男性に慣れていなくて泣いてしまうお子さんがいても決してくじけないので、そのうちお子さんの方が慣れちゃうんです!」



清澤さんのように、地域で子育て支援をしてみませんか?

◆ 子育て支援・子育てトーク

こども園や生涯学習交流館等を会場にして、0歳児から3歳児のお子さんと、お父さん・お母さんを対象に、楽しい“子育てトーク”を開いています。

1年のプログラム(毎月1回程度開催)の中では、お父さん・お母さん同士のおしゃべりや親子ふれあい遊びのほか、子育ての先輩である地域の主任児童委員を中心にボランティア、保育士、保健師等も加わって、育児のアドバイスをしたり、相談に乗ったりしています。

【子育てトーク ボランティア参加についての問合せ】

葵区: 社会福祉協議会地域福祉推進センター 葵区 TEL: 054-249-3183

駿河区: 社会福祉協議会地域福祉推進センター 駿河区 TEL: 054-280-6150

清水区: 社会福祉協議会地域福祉推進センター 清水区 TEL: 054-371-0292

◆ 静岡市ファミリー・サポート・センター 054-254-2283 (本部) 054-355-3333 (清水)

地域で支え合って、子育て援助を行う「まかせて会員」を募集しています。お問い合わせ下さい。

趣味の世界で広がるシゴト

飯塚 章浩 さん（76歳）

趣味は、油絵や陶芸、木工工芸、ガラス工芸、粘土工芸など。「NPO法人マンパワーカフェ」のコミュニティビジネス事業部で主催する親子ものづくり教室とパソコン教室で講師を務め、その他保育園の理事や、さまざまな団体に所属。退職して12年。現在妻と2人暮らし。

以前は商品販売の会社を経営していました。小さいころから美術・工芸が好きで、いつかそういう事に携わっていきたいという思いから、退職後は趣味を活かせる団体で活動するようになりました。

「NPO法人マンパワーカフェ」主催の親子ものづくり教室では、子どもたちに竹細工や木工などを教えています。

誰にでも作りやすいように、竹を適度な大きさに切ったり、色々な形や大きさの木片をたくさん準備します。それを教室にずらっと並べておくと、子ども達の創作意欲は刺激され、自由な発想でものづくりに取り組むことができます。

理事として関わっている保育園では、手づくり品



を提供しています。正月には門松を、たこあげ大会では大凧を制作し、園児たちは大喜び、保護者や職員からもその本格的な仕上がりが評判です。

それから、油絵も描いています。子どもの頃、道具を父親におねだりして買ってもらった思い出がありますね。小学5～6年ころから始め、今は出身高校の美術同好会と、日曜画家が集う全国組織「チャール会」に所属しています。

そのほかにもたくさんの趣味を謳歌しつつ、所属団体から任されるシゴトもやりこなしています。自由になるお金こそ少ないですが、現役時代のストレスから解放され、楽しい毎日を送っています。

退職して気づいたことは、生活の糧を得るための仕事もちろん大事ですが、趣味の世界でシゴトを広げることも、人生に幅を持たせるという意味で大切だということです。

私も後期高齢者の仲間入りをし、今後の課題は各団体のシゴトを次世代にバトンタッチしていくこと。

趣味に生きる楽しさも伝えていきたいですね。

★ 親子ものづくり教室の子どもたちからのメッセージ ★



「飯塚さんたちのものづくり教室は、とても楽しいです！特に正月飾りは完成度が高く、家族に褒められます。」

◆ NPO法人マンパワーカフェ

『個々が持つ技術やノウハウを生かし、中小企業や地域に貢献したい！ 退職後も生きがいを持って生活したい！』という思いを現役時代から持っていた三菱電機静岡製作所のOBが11年前に立ち上げました。現在は様々な企業のOBで構成され、主に企業の支援をする産業支援活動と、地域住民へのボランティアを主体とした地域支援活動をしています。

コミュニティビジネス事業：

地域社会に貢献できる様々な活動をしています。特別なスキルは不要です。意欲のある方ならどなたでも結構です。



男女共同参画を学んで、私革命。

佐野 修 さん (83歳)

退職後、男女共同参画に興味をもち、講座・勉強会に数多く参加。現在、男性相談や、「男性の生き方」をテーマに活動。「アイセル男の料理塾」にも参加しています。退職して25年。妻と長女の3人暮らし。



地方公務員を退職し、仕事第一の世界から一転。この後、何をしてどの様に生きて行くのか、計画も持たない自分に向き合っていました。

「未知な部分を学びたい。」そんな時、ふと「男女共同参画」という言葉が目につきました。興味をひかれた私は、行政主催の講座や勉強会に積極的に参加するようになり、目から鱗の思いを強く持ちました。以来「男性の生き方 ―パートナーとのコミュニケーション」をテーマに、地域で男性の集会を利用して、話題提供などを行ってきました。

また、活動の中で、現代社会における男性の悩みの深さを見聞きし、多少なりとも彼らに寄り添えたらと考え、男性相談にも取り組んでいます。



社会活動を通じて、素晴らしい友にも恵まれました。とりわけ行動する女性たちとの出会いが、私自身の意識改革を呼び起こし、私の日々を豊かに、色鮮やかにしてくれました。

過去の自分を振り返ると、「仕事にかまけて、家族との時間を大切に過ごしていなかったのでは」と自責の念を強く感じます。改めて、「家族と一緒に時間を大切にしよう」と念じました。

家族からは「子育ての大変な時にはるくに話も聞いてくれなかったのに、随分変わったね!」と驚きの声しきりです。こうやって今を過ごせることに大変感謝しています。

今後の目標は、定年後だれもが気楽に集まり話し合える「プラチナ男子会」を発足させることです。退職後の生き方は人それぞれですが、自分がやりたいと思うことがあれば、時間と多少の経費をかけて取り組みましょう!

★ ご家族からのメッセージ ★

「『ありがとう』のひと言とやさしい笑顔が私のビタミン剤です。」

ビジネス支援事業：

中小企業の人事、経理、資材、営業、開発、製造など広範囲にわたり支援しています。

また、エコアクション21取得のために支援活動をしています。企業で環境経営、品質管理、省エネ業務などに関わったご経験のある方を求めています。企業でのすべての分野でのご経験が活かされます。特に製造技術部門、工場管理部門でのご経験のある方を求めています。

支援活動以外にも、定期的に会員相互の情報交換、知識の共有、技術の向上も図っています。

【問合せ】 〒420-0842 静岡市葵区銭座町9 マンパワーカフェ事務所

電話・FAX 054-245-1733

Eメール：manpowerca@ai.tnc.jne.jp

現役時代の殻を脱ぎ捨てよう！

高柳 透 さん (63歳)

葵区在住、退職して3年目。妻と母の3人家族です。「静岡セカンドライフサークル」の副会長を務めるほか、「災害ボランティアコーディネーター静岡」事務局や災害ボランティア団体「復幸ボランティアやらざあ駿河」など、様々な活動に取り組んでいます。

東北地方へ単身赴任し、11年ほど営業の仕事をしていました。単身赴任に加えノルマ達成等のストレスで、在職中は耳鳴りがしていましたが、定年退職して静岡に戻るとその症状はなくなり、ホッとしました。

新しい知り合いを作ろうと思い、また、新しい知識の吸収を目指し、なるべくいろんな講座等に参加するようにしています。

現在、静岡市女性会館主催の講座「男性カレッジ2014 団塊世代のための充実セカンドライフ」修了生で立ち上げた「静岡セカンドライフサークル」で副会長を務めるほか、「災害ボランティアコーディネーター静岡」事務局や、災害ボランティア団体「復幸(ふっこう)ボランティアやらざあ駿河」などに所属し、講座や研修会に参加しています。

また、予定のない日は家庭菜園を楽しんでおり、ヤーコン、キクイモ、なた豆、四角豆、白おくら、



聖護院大根等、市場であまり見かけない作物を主に栽培しています。農園で作業していると、あっという間に1日が過ぎていきます。

月日の過ぎるのが早いこと！

家族は、「またなんかやってるね！」と見守ってくれています。在職中は単身赴任が長かったので、家族という時間があまり取れませんでした。現在は妻との時間も取れるようになりました。

今は、自分が不得手なことはなるべく行わないようにしているため、在職中感じていたストレスも無くなり、基本「明日に延ばせることは今日するな」で日々を過ごしています。

「受けて忘れず、施して語らず、過去を語らず」をモットーに、晴耕雨読の毎日です。不本意にも現役時代に身につけてしまった殻を早く脱ぎ捨て、「これが私のライフワークだ」というものを早めに見つけることが定年後を生き生きと過ごす秘訣だと思います。

★ ご家族からのメッセージ ★

妻「定年退職後、どうするのかと
思ってみていたら、忙しそうに
しているね。」

娘「父ちゃん、楽しそうだね。」

孫「……………」



◆ 静岡セカンドライフサークル

第二の人生の充実を目指す団塊世代男性によるサークルです。

今年4月に発足したばかり。静岡市女性会館主催の講座「男性カレッジ2014 団塊世代のための充実セカンドライフ」修了生が立ち上げました。

テーマを決めての発表・討論会や男の料理教室等、いろんなことに挑戦しています。人の指示に従うのではなく、自分で物事を決めるというのも、セカンドライフでは重要。活動内容については、会員みんなで考え、コミュニケーションを大切にしながら決めたいと考えています。趣旨に賛同する人はどんどん入会して下さい。

「楽しむこと」が、最良の薬！

北川 勲 さん (70歳)

駿河区在住。妻と二人暮らし。前職は建築業（建材関係）、退職して12年目。脳出血のため左半身が動かなくなり、リハビリの生活が続いている。

59歳半ばで、ある日突然左半身が動かなくなり、救急車で運ばれました。脳出血と診断され、3か月入院。毎日リハビリを続け、なんとか一人で杖をつけて歩けるまで回復し、職場に戻ることができました。会社では以前よりも負担の少ない仕事に変えてもらうことができ、会社の温情を感じました。

退職を迎えた時は、「これでのんびり過ごせる」と思う反面、「また病気が再発するかもしれない」「体が不自由な状態で一日中家にいて、一体何をすればいいのか」と不安でしたが、今は「とにかく毎日リハビリを続けることが大切なんだ」と思い、運動を心がけています。

雨の日以外は毎朝7時ころ起床、歩いてゴルフの打ちっぱなしへ行き、100球ほど打ち込んでいます。

その後安倍川土手を5キロほどウォーキング。

毎日の運動のほか、月2回、友人たちと袋井や富士宮のゴルフ場に行くのが楽しみになっています。

体が不自由になっても、友人たちが気兼ねなく誘ってくれるのが嬉しいです。ゴルフコースは坂が急なところもあり健常者のようには打てませんが、できる限りでやらせてもらっています。

妻は自宅でクリーニング店をして働いていますが、毎日の運動に快く送り出してくれて、とてもありがたいと思っています。左半身に力が入らず震えがある



ので、料理は難しいですが、掃除など自分にできる限りのことをして妻のサポートをしていきたいと思っています。

今も病気がいつ再発するのかと常に不安な気持ちはありますが、この年齢でも毎日のリハビリによって体の機能が回復していると感じています。今では重い荷物を持つなどの特別なこと以外は何とか自分自身でできるようになりました。私と同じような病気の方はたくさんいると思いますが、「この年齢だからもう良くはならない」と諦めず、毎日リハビリを続けることが大切だと思います。今よりも元気になることを目指し、楽しみを見つけて頑張ってほしいと思います。

★ ご家族からのメッセージ ★

「雨の日以外は毎日欠かさず運動に出かける頑張り屋です。体が大変だと思いますが、これからのがんばって続けて、いつまでも元気でいて欲しいです。」



【活動日】 原則第3火曜日午後
【活動場所】 主に静岡市女性会館（アイセル21）
【問合せ】 Eメール：t_takayanagi1952@yahoo.co.jp
（静岡セカンドライフサークル副会長

高柳 透）



日本初の「女性輝かせ業」を目指す

— 株式会社女性イキイキカンパニー —

今回は、平成26年度静岡市女性の活躍応援事業所表彰において大賞を受賞された「株式会社女性イキイキカンパニー」(経営管理本部 部長) 齋藤 由紀子様にお話を伺いました。



お客様はもちろんのこと、共に働く仲間も輝かせたい、という思いがあります。スタッフが輝いていることで、より良いサービスをご提供できていると考えているからです。

企業として、職場を単なる雇用の場とするのではなく、女性がイキイキワクワク輝ける場所にすることに全力を注いでいます。

「女性がイキイキワクワク一生輝いて働ける会社のリーディングカンパニーとして女性の“輝く”を一生サポートし、日本中をHAPPYにする!そして日本初の『女性輝かせ業』をつくりたい!」という思いで、それぞれの事業に取り組んでいます。

現在当社で展開している全ての事業は、私たち社員が「やってみよう!」と思って始めたものです。だからこそ、自分たち自身も納得がいくまで内容を追求し、お客様にも心からご満足いただけるようなサービスの提供に向け、常に努力し続けているのです。

「一生輝いて働く」を応援!

株式会社女性イキイキカンパニーは、静岡市葵区に本社を構え、県内各所で美容サロン・ウェディング・保育などの事業を展開しています。

「女性がいきいきと活躍できる環境づくりへの取り組みが先駆的で他の模範となる」との評価をいただき、平成26年12月に、静岡市女性の活躍応援事業所大賞を受賞しました。

平成17年の会社設立時は、「有限会社リアルブレイブ」という社名でしたが、「女性が輝きながら働ける社会づくりに貢献する」という経営理念、社長自身の強い思いから、平成24年9月に「株式会社女性イキイキカンパニー」に名称変更。

女性イキイキカンパニーは、その名のとおり、女性をイキイキと輝かせる会社です。

同じ思いの仲間とともに

メンバーを受け入れる際の面談にはじっくり時間をかけています。当社の理念や目標について、相手にこちらの思いを精一杯伝え、相手の思いも精一杯聞き取ります。

採用にあたり最大のポイントにしているのは、

学歴や経歴ではなく、こちらの理念にいかにか共鳴・共感してくれるかということ。「自分がどうしたいのか。どうなりたいのか。」仲間として迎え入れる際に必ず確認する個々のビジョンが、女性イキイキカンパニーを作り上げています。ここで働く仲間全員が、互いに認め合い、同じ思いで当社の理念とビジョンを追求しているのです。

オーダーメイドの勤務形態

働く時間を調整することで、女性が出産や育児のために辞めることなくキャリアを積むことができるよう、雇用環境整備に取り組んでいます。

育休復帰のタイミングに合わせて面談を実施し、復職後の勤務時間等を決定します。しかし、ひとりで「育児中」といっても、生活の背景は個々に異なるものです。規定の制度では勤務が難しい社員に対しては、「オーダーメイド雇用」といって、本人から細かな希望を聞き取り、個々の抱える事情を考慮しながら勤務形態を検討しています。

全社員に向けた活躍応援

育児中の女性に限らず、全社員の活躍応援に向けて、社員の希望に応える様々な制度を用意しています。

★勤続年数に応じた表彰

- ・勤続年数5年・10年の節目には表彰を実施。
対象社員には特別休暇付与と手当を支給。

★有休取得を積極的に推進

- ・「仕事も趣味も一生懸命」を応援！
有給休暇取得に目標値を設定。
上司からの呼びかけで半数以上の社員が目標

値を達成！

★自己啓発・スキルアップも積極的に！

- ・セミナーへの参加や参考図書など、研修・研究費として会社が負担。
- ・自己啓発のために購入した本等は、本社の「イキイキ図書館」へ蔵書。社員みんなで共有しています。



私たち株式会社女性イキイキカンパニーは、これからも女性がイキイキと活躍できる環境づくりへのさらなる取り組みを目指して、地域社会に貢献してまいります。

株式会社女性イキイキカンパニー

事業内容：美容サロン運営／ウェディング／
認可保育園運営

所在地：〒420-0803
静岡県静岡市葵区千代田4-2-12
(2F)

電話番号：054-245-5055

従業員数：69名（男性7名、女性62名）

正社員63名 パート6名

※平成27年4月現在

ホームページ：<http://www.ikiikijapan.jp>

静岡市はたらく女性のネットワークづくり応援企画

しずおか200人女子会 を開催しました



静岡市では、女性の活躍を応援するため、本年度から『女性の活躍応援プロジェクト』を実施しています。女性が就業継続できない理由の一つに、「身近にロールモデル（目標となる先輩モデル）がない」、ということが挙げられます。つまり、働く女性が出産・育児の時期を迎えた時、「企業内を見回しても働き続けている先輩がないから、当然自分も仕事を辞めなければ」と考えてしまう傾向があるということです。特に静岡市は中小企業が多く、企業内にロールモデルの存在が無いケースが多い様です。そこで、企業の垣根を越えて、自分のロールモデルを見つけてもらうことを目的に、女性の活躍応援プロジェクトのキックオフイベントとして、「静岡市はたらく女性のネットワークづくり応援企画 しずおか200人女子会」を開催しました（平成27年7月9日（木）ホテルセンチュリー静岡）。

第1部では、菊池桃子さん（タレント・戸板女子短期大学客員教授）が、「女性の多様な生き方を考える～学ぶことで変わった、生き方・働き方～」について講演。第2部では、参加者の200人女子がデザートカフェを楽しみながら交流を深めました。

このキックオフイベントに続き、8月下旬からは女性活躍に関する事業所向けセミナーや、働く女性向けセミナー、更には事業所への女性活躍アドバイザー派遣などの取組を実施しています。また、静岡市女性会館では本年3月、先輩女性に直接相談できる「Jo-Shizuメンターバンク」を開設。メンター登録者及び利用者の拡大に取組んでいます。

静岡市では、今後も引き続き、女性の活躍を応援する事業を展開していきます。

パザパ25号のご意見・ご感想をお寄せください。

〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市市民局男女参画・多文化共生課
 TEL : 054-221-1349 FAX : 054-221-1782 Eメール : sankaku@city.shizuoka.lg.jp